

令和6年度2学期始業式校長講話

皆さんおはようございます。校長の高橋 聡です。さて、充実した夏休みを過ごせましたか。皆さんには7月の学校見学会で会場設営、受付、案内、司会、施設見学等お手伝いいただき、ありがとうございました。部活動の合宿も実施でき、新人戦や夏季大会、発表会等を目標に練習に打ち込んだ運動部・文化部の部員の皆さんお疲れ様でした。夏休み期間中に水泳部が関東大会とインターハイに出場しました。また、吹奏楽部も第64回東京都高等学校吹奏楽コンクールでA組、B組共に金賞を受賞し、A組は都大会に出場します。他の部活動も含めて健闘をたたえ、拍手をお願いします。夏の練習の成果は、これから涼しくなった頃に必ず目に見えてくるはずですので、その成果を楽しみにしています。夏季講習に参加した3年生の皆さん、いよいよこれから受験に向けて本格的な取組がスタートします。計画通りに勉強が進んだ人はこの調子で、進まなかった人はこれから、取り戻しましょう。現役生は、受検直前まで成績が急上昇するチャンスがあります。まだ、慌てないで大丈夫です。もう一度計画を再検討してみてください。学習の成果が表れるまで3か月かかると言われています。頑張った人は3か月後を楽しみにしてください。

2学期が始まるにあたって、皆さんに2点お話しします。

まず、防災についてです。9月1日（日）は防災の日で、1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災に関東地方が見舞われた日です。マグニチュード7.9、死者・行方不明者は推定10万5,000人で、明治以降の日本の地震被害としては最大規模です。東日本大震災はM9.0で、阪神淡路大震災

は、7. 3でした。今夏8月9日に宮崎で震度6弱を観測し、南海トラフ巨大地震注意が発令され不安な日々を過ごしたことを思い出してください。この後、石谷先生から先生自身のご経験なされた東日本大震災についてお話を伺います。貴重なお話になると思いますので、よく聞いて、もう一度防災に関して考えるきっかけとしてください。

次に、この夏はパリでのオリンピックの話題で日本中が熱狂していました。結果的に金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個という素晴らしい成果を収めました。人それぞれ夢中になったものや感動したもの。悔しかったものは異なると思います。その中で特に私を引き付けたのは体操男子団体の逆転金メダルでした。普段から皆さんにお話ししてきた、「諦めない気持ち」を体現してくれたからです。エースの橋本選手が不調の中、他の選手たちがそれぞれの役割と責任を果たし、最後を橋本選手に託し、その期待に応えた素晴らしい金メダルでした。一方、敗者復活戦や3位決定戦に挑んだ選手たちにも引き付けられました。「負けた後、どうやって気持ちを立て直したのだろう」、「どんな気持ちで戦っているのだろう」と考えると金メダルと同じだけの価値のあるメダルなのではないかとも思え、「立派だな」と心から拍手を送ったものでした。総合馬術団体で92年ぶりのメダルを獲得した「初老ジャパン」も明るい話題を提供してくれました。サッカー、バレー、バスケットボールにも期待がかかりましたが、惜しくも目標には達しませんでした。ただ、日本の良さを生かせば世界で十分に戦うことができることを証明してくれました。諦めない気持ちと短所を長所に変えていく工夫と努力と勇気があれば世界と互角に渡り合えるのを感じた大会でした。これから、

パラリンピックもあるので、どんなドラマがあるのか、注目していきたいと思います。

最後に、学校生活で、何か困ったことや不安なことがあれば、一人で抱え込まずに遠慮なく先生方に相談してください。引き続き、校長室の扉はできる限り開放していますので、校長室に進路や英語の学習法の相談に気軽に来てください。特に、英語学習については英文法、英作文、英語長文で講習を実施しています。今からでも参加お待ちしております。今日から2学期のスタートです。杉高祭もすぐ始まります。NZのハットバレー高校からホームステイに来ますので、皆さんが2学期、充実した学校生活を送ることができるよう応援します。私からの話しは以上です。